

ROTARY CLUB OF

KANAZAWA-NORTH



金沢北ロータリークラブ

例会日：木曜日 12:30～13:30

例会場：金沢市東山1-38-30・松魚亭

TEL <0762> 52-2271

事務局：金沢市尾山町9-13・金沢商工会議所

TEL <0762> 22-2525

会長：本江他美夫 幹事：長谷川壘人

情報委員長：春田義正

1986・7月24日 第320号

「新交通システムの導入について」

金沢経済同友会

事務局長 門口 敏男氏



金沢の交通状態は目に余るものがあるということで、これを何とか打開する方法がないものかと地元の経済界でも非常に頭を痛めている。私どもに都市問題の研究委員会があり、その委員会で金沢の都市のあり方、それに伴う交通のあり方を勉強してみたらどうかという話があって、たまたま、今年の5月2日から約6ヵ月間、カナダのバンクーバーで交通と通信を中心とした博覧会が開催されており、同友会では10日間かけ、バンクーバー、トロント、シアトルと新交通システムの先進都市を視察してきた。

「ワールド・イン・ムーション」「ワールド・イン・タッチ」というテーマで26ヵ国が出展、大変な賑わいだった。日本館へ行くとテレビに東京のラッシュアワーの風景が写っており、外国人は非常に不思議な顔をしてテレビを覗いている。我々には見慣れた風景であり、何故そんな顔をするのか最初は理解できなかった。ところが、万博会場へ入ってくる新交通システムの駅で見た人々の様子は、二列に並び列車が入って来ると定員よりやや多いくらいしか乗らない。次の人は悠々と待っている。日本人のように一寸でも二寸でも前へ進もうという人はいない。大国だなというか風土が人を作るというか慌てた様子がない。肩がふれあうと、もう満員ということだ。日本の交通機関のように運ばばいい、会社はもうかればよいというのではなく、交通機関は快適でなければならぬという基本的な考え方が全然違う。

さて、新交通システム概念分類に、既存ハードの新しい運用と新しいハードが作られる交通システムとがある。たとえば今、金沢でやっているバス専用道路というようなものは従来からの既存のハードを新しく運用しているという部類に入る訳だが、我々が今、金沢で取り上げてほしいと云っているのは、新しいハードの方の軌道輸送システムである。モノレールや、国鉄とか日航が開発している浮上式軌道も新交通システムの部類であるが、都市内交通の新交通システムというリニアモーターカーによる中量輸送軌道システムということになる。どういう利便性があるかということ、建設費が地下鉄の3分の1ぐらいである。2番目には補修費が安くつく、省エネ騒音が少ないなどがある。特徴として急勾配をあがれる(8度)、ただ一つ対雪能力はどうかということになると疑問を感じる。乗ってみて感じたことは加速が速く、止まる時も減速時間が短いカーブも20メートル半径でまがれるというのが魅力である。これは武蔵が辻が急カーブになっているので、大変有利だ。そういうことで、金沢の都市交通として取り上げるのには格好のものではなかろうかという感じを受けた。

又、どうしてこういう新交通システムが浮かび上がってきたかということ、大都市の交通問題は比較的いい方向へ向かっているが、いわゆる中小都市の交通問題が非常に問題になってきてい

(中面につづく)

る。40年代中頃からの車社会移行で、急激に需要が増えてきている訳で、地方でも中核都市の交通基盤整備がなかなかおっつかない。問題はそれによって、交通の渋滞が都心の空洞化をきたしは、しないかということだ。率直に言うと、香林坊に400億からの投資をしているが、都心再開発前に、交通手段を先に考えるべきで、逆になっているのが今の姿という気がする。金沢都市圏の大発展のために、都市交通（都市間交通も含めて）を抜本的に考え直す時期にきているのではないかというのが我々同友会の考え方だ。

—金沢北RC例会講話より—（文責 小坂友夫）

私 の 名 刺

奥 田 久 雄



この度、日頃たいへんお世話になっております下村義明様と青年会議所以来、公私にわたりおつきあい頂いております米沢真二様御両氏のご推薦をいただき、金沢北ロータリークラブに入会させて頂きましたこと大変嬉しく、厚く御礼申し上げます。私の先祖が金沢の北、森本地区の出身であり、今でも多くの親戚がおりますので、ロータリーのなかの金沢北に入会させて頂くことになりましたのも何かの縁かと思っております。仕事は里見町と専光寺町において加賀友禪を主体にした染色業を営んでおります。里見町の方は鞍月用水、その用水にかかっております橋の名の茜屋橋が示すように江戸

の昔から染屋が多く住んでいたところであります。加賀友禪は、戦後の伝統産業、ならびに手造りブームにのって、現在のような隆盛を見るに至ったわけでありますが、いろいろな伝統産業のあるなかで、友禪の技法は純粋な国産の技術であり、これは世界に誇れるものであります。加賀の紺屋は前田家とともに発展し、宮崎友禪齋、木村雨山によって今の加賀友禪があります。世情の不安定の時には丈夫な織の着物が、平和でゆとりのある時は染の着物が発展するといわれております。おかげ様で加賀友禪の業界は順調に歩んでおりますが、価値感の多様化で見られる現在、他の分野と同じく、今までの伝統の上に、あぐらばかりかいているわけには、いかなくなっております。また他産地でも、加賀友禪調、加賀風と称して、よく似たものが、出まわっております。しかし伝統の力は強く、品格においては負けないと自負するものであります。この隆盛を更に発展するために皆様のたいなるお知恵を拝借したいと思っております。

所詮、私は紺屋、茜屋といわれた職人の息子でありますので、当クラブの入会のおすすめには随分とまどいましたが、新人研修会の席で、諸先輩の方々から、ロータリークラブは職業を通じて社会に奉仕することが、大切だとのお話をお聞きし、職業と奉仕の意味の重さを痛切に感じました。

ところで仕事以外、なんの趣味のない人間ですが、たまの中国旅行を楽しみにしております。学生時代の応援歌に「臥薪嘗胆指折し」という一節がありました。意味もわからずに、良く歌わされたものです。それ以来、一度はこの故事の地をおとづれたいと思っておりましたが、たまたま蘇州市参観する機会に恵まれ、それ以来、中国の魅力につかれた次第です。

今後共、よろしく御指導をお願いいたします。

決算書 《1985.7～1986.6》

収入の部

科 目	予 算	実 績
1. 入 会 金	600,000	400,000
2. 会 員 会 費	16,060,000	15,840,000
会 費		
ビ ジ タ ー 会 費	1,500,000	1,502,600
小 計	17,560,000	17,342,600
3. 財 団 寄 付 金	14,940	9,490
4. ニコニコBOX繰入金	1,600,000	1,600,000
5. 雑 収 入	40,000	42,503
6. 繰 越 金	344,010	344,010
合 計	20,158,950	19,738,603

特別会計(ニコニコボックス)

収入の部

区 分	金 額
各種内祝・その他	2,271,300
繰越金	1,648,575
預金利子	180,171
合 計	4,100,046

支出の部

区 分	金 額
本会計へ繰入	1,600,000
次年度繰越	2,500,046
合 計	4,100,046

1986年6月30日現在高

北国銀行本店

一般会計	658,905円
特別会計(ニコニコ)	2,500,046円
定期預金(ニコニコ)	3,000,000円
定期預金(特別基金)	1,475,408円
定期預金(特別基金)	522,148円
定期預金(特別基金)	500,000円

支出の部

科 目	予 算	実 績
1. 分 担 金		
R I 本 部 分 担 金	363,540	341,889
財 団 寄 付 金	51,294	57,372
米 山 財 団 寄 付 金	146,000	143,000
地 区 資 金 分 担 金	175,200	171,600
ロータリー文庫提出金	29,200	28,600
青少年交換委員会提出金	87,600	85,800
地区インターアクト提出金	43,800	42,900
地区ローターアクト提出金	36,500	35,750
年次大会分担金	284,000	288,000
ガバナー事務所費	109,500	107,250
ガバナー月信	94,900	92,950
世界社会奉仕委員会提出金	7,300	7,150
小 計	1,428,834	1,402,261
2. 委 員 会 事 業 費		
社 会 奉 仕	650,000	645,471
国 際 奉 仕	650,000	655,356
職 業 奉 仕	300,000	297,286
例 会	200,000	92,300
拡 大	10,000	0
企 画	450,000	413,660
情 報	1,500,000	1,429,184
親 睦	700,000	659,940
修 練	20,000	26,750
友 好	200,000	227,310
地 域 開 発	100,000	100,000
小 計	4,780,000	4,547,257
3. 会 議 費		
例 会 費	7,500,000	6,786,260
理 事 会 費	180,000	101,600
地 区 会 議 出 席 費	170,000	175,500
そ の 他 会 議 費	70,000	220,556
小 計	7,920,000	7,283,916
4. 交 際 費	100,000	75,000
5. 事 務 局 費		
共 同 経 費 分 担 金	3,480,000	3,480,000
印 刷 費	930,000	933,200
通 信 費	400,000	380,000
函 書 費	10,000	2,804
雑 費	350,000	312,160
小 計	5,170,000	5,108,164
6. 予 備 費	260,116	163,100
7. 特 別 基 金 繰 入	500,000	500,000
8. 次 年 度 繰 越 金	—	658,905
合 計	20,158,950	19,738,603

ROTARY BRINGS HOPES

予 算 書 <1986.7~1987.6>

収 入 の 部

科 目	本年度予算
1. 入 会 金	500,000
2. 会 員 会 費	16,390,000
会 費	1,500,000
ビ ジ タ ー 会 費	17,890,000
小 計	
3. 財 団 寄 付 金	8,750
4. ニコニコボックス繰入金	1,500,000
5. 雑 収 入	40,000
6. 繰 越 金	658,905
合 計	20,597,655

支 出 の 部

科 目	本年度予算
1. 分 担 金	
R I 本 部 分 担 金	268,200
財 団 寄 付 金	34,825
米 山 財 団 寄 付 金	298,000
地 区 資 金 分 担 金	178,800
ロ ー タ リ ー 文 庫 拠 出 金	29,800
青 少 年 交 換 委 員 会 拠 出 金	89,400
地 区 イン タ ー ア ク ト 拠 出 金	44,700
地 区 ロ ー タ ー ア ク ト 拠 出 金	44,700
年 次 大 会 分 担 金	304,000
ガ バ ナ ー 事 務 所 費	119,200
ガ バ ナ ー 月 信	89,400
世 界 社 会 奉 仕 委 員 会 拠 出 金	7,300
小 計	1,508,325
2. 委 員 会 事 業 費	
社 会 奉 仕	700,000
国 際 奉 仕	700,000
職 業 奉 仕	300,000
例 会	150,000
拡 大	10,000
企 画	450,000
情 報	1,500,000
親 睦	700,000
修 練	30,000
友 好	200,000
地 域 開 発	200,000
小 計	4,940,000
3. 会 議 費	
例 会 費	7,300,000
理 事 会 費	150,000
地 区 会 議 出 席 費	180,000
そ の 他 会 議 費	90,000
小 計	7,720,000
4. 交 際 費	60,000
5. 事 務 局 費	
共 同 経 費 分 担 金	3,650,000
印 刷 費	940,000
通 信 費	400,000
図 書 費	10,000
雑 費	350,000
小 計	5,350,000
6. 子 備 費	519,330
7. 特 別 基 金	500,000
合 計	20,597,655

理事會報告

7月10日(木)
出席者18名

◆金沢5RC合同役員會報告

1. 金沢5RC合同社会奉仕事業の件
高令者問題について金沢5RC委員長で検討
2. 共同募金の件 例年通り5万円の寄付
3. 金沢5RC合同會計の件
金沢北RCの畠善昭君
4. 金沢5RC新年合同例会の件
5. 善行生徒表彰の件
本年より生徒一人あたり2,000円の図書券贈呈
6. 年次大会の件 今後の課題
7. 慶弔規定の件
他クラブ会員への御香典は5,000円とする
(従来通り)
8. ガバナー公式訪問の際のガバナーへの御土産、
御車代の件

◆決算・予算の承認

◆高令者問題の件

7月18日都ホテルにて金沢5RC社会奉仕委員長會

◆各委員会報告

○職業奉仕委員会

ソフトボール大会の件

○例会委員会

早朝例会の件

◆その他

○土田会員、更に2ヶ月の入院(診断書受理)

5月例会出席状況

出席率 100%

会員名	月日	6/5	6/12	6/19	6/26	6月	会員名	月日	6/5	6/12	6/19	6/26	6月
浅田 楨男		○	○	M	M	◎	大場 勝雄		○	M	M	○	◎
浅田 豊久		○	○	○	○	◎	大場 吉美		○	○	M	○	◎
浅野 弘明		○	M	○	○	◎	大村 精二		○	○	M	○	◎
安宅 雅夫		○	○	○	M	◎	大沢 久弘		M	M	M	○	◎
二合 木正		○	○	○	○	◎	及川 雅		M	M	○	○	◎
春田 昌英		○	M	M	○	◎	岡田 林太郎		M	M	○	○	◎
長谷川 義正		○	○	○	○	◎	岡田 進		○	○	○	○	◎
畠 善昭		○	○	○	○	◎	乙村 舜吉		○	○	○	○	◎
本市 江川他美夫人		○	○	○	○	◎	坂下 直人		○	○	M	M	◎
飯野 健志		○	○	○	○	◎	桜井 健太郎		○	M	M	○	◎
石丸 幹夫		○	○	○	M	◎	関田 哲		M	○	○	○	◎
磯貝 貞吉		M	M	○	M	◎	柴田 三郎		○	○	○	M	◎
金勝 子新		○	M	M	M	◎	清水 忠明		M	○	○	○	◎
木島 光一		○	M	○	○	◎	下村 義次		○	M	○	○	◎
木村 丹二		○	○	○	○	◎	塩村 透		○	○	○	M	◎
小林 隆二		○	M	○	M	◎	高滝 菊丸		○	○	○	○	◎
小間井 隆二		○	○	○	○	◎	依田 憲三		○	○	○	○	◎
小坂 友尚		M	M	M	○	◎	土田 安一		M	出	席	○	◎
越田 和好		○	M	○	M	◎	土田 一二		○	○	○	○	◎
越元 陽二		○	○	M	○	◎	佃 一成		M	○	M	○	◎
越野 民男		○	○	○	○	◎	上田 忠信		M	M	○	○	◎
小杉 守善		○	○	○	○	◎	魚住 安彦		○	○	○	○	◎
小増 江泰		出	席	免	除	◎	若野 三健		○	○	○	○	◎
松岡 三弘		M	M	○	M	◎	早山 稻一		○	○	○	○	◎
本岡 千太郎		○	M	○	○	◎	山岸 与真		M	○	○	○	◎
本宗 田太		出	席	免	除	◎	山米 沢一		○	○	○	○	◎
村田 完二		○	○	M	M	◎	米沢 修		○	○	○	○	◎
中村 三省		○	M	○	○	◎	吉田 富賢		○	M	○	○	◎
中村 省三		○	M	○	○	◎	吉岡 有		○	○	○	○	◎
中谷 汎仁		M	M	○	M	◎							◎
中谷 栄治		○	○	○	○	◎							◎

第639回例会

◆ 7月10日(休雨) 12:30～13:30 松魚亭

1. 御挨拶 各委員長
2. 出席 出席56名、欠席17名、出席率76.71%
ビジター21名
3. 来訪者(敬称略)
富山西RC 安田秀夫(電機製造)
野々市RC 前田利雄(クレーン業)
金沢RC 田次襄一、平沢寿
中宮喜裕、東栄治、北元喜雄
金沢東RC 佐野泰夫、福光博
平井大承、浅倉道敏、森本政夫
金杉英三
金沢西RC 北川正信、中村吉輝
金沢南RC 清水禮二、橋本勝郎
鏑一郎、古作文衛、高桑明
三野裕
4. 幹事報告○例会後、理事会、クラブ協議会開催。
5. ニコニコボックス
 - 新年度本江会長、長谷川幹事、役員の皆様御苦勞様です 大場勝雄
 - 今年度、友好委員長を受けました。よろしく 滝憲三
 - 先週の会報に、西善に於ける懐石の会の写真がのりました。今年も又よろしく 吉山宥海
 - 5ヶ年の皆出席の顕彰をいただき、有難う御座居ました 磯貝貞吉
 - 5年目にて「赤いバッヂ」をいただきました 高島菊丸
 - また一年間、何卒よろしく 春田義正
 - メーキャップが続きました 浅田禎男
合計15,000円 (累計 66,000円)
6. 今週のニュース
 - 衆参同時選挙、歴史的な大勝衆院 304参院74。
 - 金丸幹事長、辞意表明。
 - 平和相銀前社長ら7人逮捕、88億円の不正融資。
 - ロッキード裁判佐藤孝行代議士上告取り下げ。
 - 土用下県議選挙違反で取調べ。

第640回例会

◆ 7月17日(休)はれ 12:30～13:30 松魚亭



1. 講話
(株)セイ・アグリ・システム
社長 伊勢豊彦氏
「たまごの話」
2. 出席
出席51名、欠席22名
出席率69.86%
ビジター17名
3. 来訪者(敬称略)
河北RC
新田哲夫(衣料販売)
金沢RC 福島久太郎、岡田虎二
岩喬、大島広靖、真柄敏郎
本田八郎
金沢東RC 伊藤幸雄、彦田昭雄
金杉英三、三谷進三、岡田義明
大樋年朗
金沢西RC 作田昭七、荒川勝治、東清
金沢南RC 山本茂
4. 幹事報告○本日(17日午後6時)例会・企画・情報委員会炉辺会合、中谷会員宅にて
5. ニコニコボックス
 - 本日講話をさせていただきます。
伊勢豊彦氏
 - 後樂園球場で催される、第57回都市対抗野球大会に東海・北陸第一代表として出場の金沢市代表NTT北陸チームの御健闘をお祈りします。又、社会奉仕委員会の炉辺会合に出席出来ませんでした 乙村舜吉
 - 北国新聞の「夫婦交響」の欄に、私達の記事が出ましたので 魚住安彦
合計13,000円 (累計 79,000円)
6. 今週のニュース
 - 安倍晋太郎氏福田派を継承、世代交代の動き加速。
 - 農産物、米ガット提訴へ、12品目完全自由化求め。
 - 円急騰 158円戦後最高値を更新。

物を知るには

これを愛せねばならぬ

物を愛するには

これを知らねばならぬ

西田幾多郎

ロータリーニュース

ソフトボール大会作戦会議?

間近に迫った職場対抗ソフトボール大会に出場するわが金沢北RC 2チームの精鋭が7月17日、三十間長屋にて、ミーティングを兼ねた炉辺会合を開いた。昨年は1回戦にて善戦及ばず涙をのんだ。今年はまず1勝することが目標、この日ボリュームたっぷりの鍋を囲んで試合に臨む体力と鋭気を養った。写真左より高島、奥田、安宅、米沢(修)、大沢、浅田米沢(真)、岡田、越田の各メンバー (越田 記)

